

一般会計

質問 多重債務者等経済生活再生支援資金貸付金とはどのような制度か。

答弁 消費者信用生活協同組合が行う債務整理資金や生活再生資金の貸付事業が円滑に実施されるよう、市と県が金融機関に預託し多重債務者の生活再生を支援するものです。

質問 この制度は現在どのくらいの方が貸付を受けているか。

答弁 平成二十三年八月から実施されており、平成二十四年二月末で十三件、一千四百七十二万円の貸付がされています。

質問 焼山フラワーカーデン事業の内容は。

答弁 夏場は使用されていないスキー場に花を植え、リフト運行するものです。

質問 この事業に取り組もうとした経緯と焼山スキー場を選んだ理由は。

答弁 東北各県にはフ

ラワーカーデンのようなものがあるが、青森県には大規模なものがないためです。

焼山スキー場を選んだ理由は、八甲田山や奥入瀬溪流への玄関口であり、そこから見る八甲田連峰の景色が素晴らしく、新たに土地を購入する必要がないためです。

質問 この事業に期待する効果は何か。

答弁 焼山地区を通過する、年間相当数の観光客の滞在時間をふやし、奥入瀬溪流を見て宿泊していただくという繋がりを期待しています。

質問 東日本大震災によるガレキを受け入れる考えはないか。

答弁 十和田地域広域事務組合ではおいらせ町のガレキを一部処理しています。しかし、施設の現状としてこれ以上の受け入れは難しいと考えています。

質問 戸別所得補償制度推進事業の審査が厳し

くなったと聞くが、大きな変更点はあるか。

答弁 単価や取り組み内容に変更はありません。平成二十三年度から当該事業が本格実施となり、食料自給率の向上に向け、厳重に進めています。

質問 現代美術館施設改修工事の内容は。

答弁 アート広場は、現在アスファルトチップを敷き詰めて水玉模様を描いておりましたが、非常に剥がれやすいうえ滑りやすく危険なため、ゴムチップ製の改修するものです。



質問 東公民館で巨木めぐりを行っている。当市には身近なところに素

晴らしい財産があり、地元の人でも気が付かないような魅力がある。これらの情報発信に早急に取り組んで欲しい。

答弁 巨木見学ツアーの人氣が高いことは承知しており、十和田市が巨木の宝庫であることも民間の調査で明らかになっています。現在は、実際に見学することが可能かデータの整理をしています。

質問 焼山のアネックススポーツランド付近の消雪に温泉の湯を利用することにより、湯けむりによる雰囲気も醸し出され、観光面でも効果があると思うがその考えは。

答弁 省エネによる凍結防止策として大変有効であると考えており、実現できるか検討したいと思っています。

質問 公園のトイレを冬期間も使用できるようにする考えは。

答弁 冬期間も使用できるように検討したいと思っています。

質問 災害時備蓄物資の内容は何か。

答弁 毛布を五千枚、ペットボトルの水は五百ミリリットル入り九千六百本、非常食はクラッカーを中心に考えています。

質問 民間事業者との災害時連携協定の状況は。

答弁 電気に関する協定を二社と締結しています。現在、民間の大手スパー二社と交渉を進めており内諾を得ています。資材関係については四社と協議しています。

質問 小中学校トイレを洋式化する考えは。

答弁 トイレ改修の必要性は認識しているが、耐震化や校舎建設等に費用を要しているため、いろいろな意見を聞きながら検討したいと思っています。

質問 小中学生全国大会等選手派遣事業補助金の交付基準と実績は。

答弁 対象は交通費と宿泊費の三分の一又は定める金額のいずれか低

い金額で、上限額は、団体の場合、全国大会五十万円、東北大会三十万円、個人の場合、全国大会二十万円、東北大会一万円です。

特別会計

質問 健康を保つためには予防が大事であり、健康診断が必要と考えるが、特定健康診査業務委託料が減額となっている理由は。

答弁 前年度は国が示す受診率向上の施策を基に伸びを見込んで予算計上していましたが、平成二十四年度は実績に基づき計上したもので、実質は減額となっています。

企業会計

質問 中央病院の特別個室の利用状況は。

答弁 これまで二回料金改定をし、稼働率が上がっており、前年度と比較して、平成二十四年度は約百七十万円の増、平成二十三年度は約六十万円の増と、料金改定の効果が表れています。